

# K-1申請中 × ESTA入国時 絶対に避けるべきNGワード集 + スマホ・SNS確認の実例（印刷用）

本資料は、CBP審査時に『移民意思』『不法就労』『長期滞在』と誤解されやすい表現と、実際に報告されているスマートフォン・SNS確認の具体例をまとめたものです。

## 絶対に避けるべき NGワード・表現

- ・「少しだけ働く」「手伝うだけ」「ボランティアだから大丈夫」
- ・「オンラインだから問題ない」「日本の会社だからOK」
- ・「様子を見てから決める」「成り行きで」
- ・「決めていない」「まだ分からない」
- ・「長くなるかも」「帰る予定だけど…」
- ・「そのまま住むかもしれない」
- ・「ずっと一緒にいたい」「離れたくない」
- ・「もう家族みたいなもの」

## スマホ・SNS確認の【実例】

- ・別室でスマートフォンのアンロックを求められたケース
- ・LINE・WhatsApp・Instagram・Facebookのメッセージ履歴を確認されたケース
- ・『仕事』『引っ越し』『住む』『いつから働く』などの文言を重点的に見られたケース
- ・ESTA滞在中の結婚や長期滞在を示唆する冗談メッセージが問題視されたケース
- ・スマホ提供を拒否した結果、入国拒否になった報告例

## 実務的な注意点（重要）

- ・スマホ確認は法的権利というより、CBPの裁量で行われるケースが多い
- ・拒否は可能だが、入国拒否リスクが上がる報告がある
- ・操作は無言で行い、自分から説明や補足はしない
- ・渡航前に誤解されやすいメッセージ・下書き・投稿は整理しておく